



相手に生きる

学校教育目標 「相手に生きることによって自己を生かす」
西中スタンダード「あいさつ」「歌」「清掃」「花」「服装」「時間」

全国学力・学習状況調査の結果について

4月19日に3年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査について、本校の結果は以下のとおりです。結果の分析をもとに、今後も授業の改善・充実に向けて取り組んでいきます。

1 教科に関する調査

本校の調査結果については、昨年度は、国語A・数学Bで全国、県平均と同程度、国語Bは全国、県平均ともに上回り、数学Bはやや下回っていました。全体として全国、長野県と同程度であった状況から、数学で、全国、県平均より下回る結果が出ました。各教科の概要は次のとおりです。

【国語】

- ・国語A（主として知識）、国語B（主として活用）ともに、全国、県平均と同程度でした。
- ・A問題に関しては、領域別で「話すこと・書くこと」「読むこと」に関する問題を相当数の生徒ができており、全体では正答率80%を越える問題が33問中17問ありました。特に、「適切な敬語を選択する」「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す」設問では、全国、県平均を大きく超えていました。
- ・B問題に関しては、領域別で見ても全国、県の傾向と大きな違いはありませんでした。設問ごとに見ると、「文章の構成を捉える」「文章の要旨を捉える」問題で全国、県平均を下回りましたが、「文章の内容を理解する」「根拠を明確にして自分の考えを書く」問題では全国、県平均を上回っていました。

【数学】

- ・数学A（主として知識）では、全国、県平均を下回り、数学B（主として活用）は、全国、県平均をやや下回りました。
- ・A問題に関しては、「図形」の問題で全国、県平均を上回っているものもありましたが、「数と式」と「関数」の領域に関わる設問で、全国、県平均を下回るものが多く見られました。
- ・B問題に関しては、領域ごとの設問に対する状況は全国、県平均と同傾向ですが、各領域で正答率がやや下回っていました。特に「条件を判断して、その理由を説明する」「与えられた情報から必要な情報を選択し、解を求める式を書く」問題で、全国、県平均を下回りました。「数学的な表現を用いて説明をする」内容の問題では、全国、県平均ともに上回っていました。

2 生徒質問紙調査

生徒の学習への関心や、学習習慣、価値観等をアンケート形式で調べた調査です。全国、県の結果と回答状況に大きな差が見られる内容から、本校生徒の特徴的な姿をまとめました。

<全国、県平均を上回る積極的な回答から見られる姿>

- ・「毎日、決まった時間に就寝・起床する」「朝食を毎日とる」という習慣がついていて、基本的な生活習慣が確立されている。また、「家の手伝いをしている」「地域の行事に参加している」生徒が多い。
- ・「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」経験を持ち、「将来の夢や目標を持っている」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」生徒が8割を超える。
- ・「人が困っているときは進んで助けている」生徒が多く、「いじめは、どんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」と95%を超える生徒が答えている。
- ・「先生は、自分のよいところを認めてくれている」「先生は、分かるまで教えてくれる」と実感している生徒が85%程度いて、95%近くの生徒が「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」経験をもっており、「学校に行くのは楽しい」「学校で友達に会うのは楽しい」と回答している。

<全国、県平均を下回る回答から見られる姿>

- ・「友達の話や意見を最後まで聞くことができる」生徒が99%であるのに、「友達の前で自分の考

えや意見を発表することが得意」な生徒は4割強である。

- ・「家庭学習を1日2時間以上する」生徒は20%未満で、県平均の6割、全国平均のほぼ半分である。「1日3時間以上」となると全国平均の2割（県平均の3割）程度である。反面、「1日4時間以上テレビやDVDを視聴する」生徒が全国、県平均の2倍、「4時間以上ゲームをする」生徒も県平均の1.6倍いる。携帯電話やスマートフォンの使用も、「1日3時間以上、通話やメール、インターネットで使用する」生徒が県平均の2倍（全国平均の1.4倍）いて、家庭生活への影響を感じさせる。

3 今後の対応

生徒質問紙調査の結果と教科の学力との間には相関関係があると考えられています。本校生徒の学力向上を図るため、以下のことを大切に考えていきます。

- ・国語の漢字練習や数学の日々の演習プリント等を通して基礎的・基本的な内容の定着を一層図っていきます。
- ・学習習慣の向上によって家庭学習の時間の増加につなげられるよう、出された宿題をやるだけではなく、予習・復習につながる「学び方を学ぶ」学習に力を入れていきます。
- ・毎日の授業の中で、「根拠をもって自分の考えを書く力」「根拠をもって自分の考えを説明する力」「資料や結果から考察する力」がついていくよう、各教科の授業での思考を高めるための学習場面、理解を深めるための課題とそのための時間を充分にとっていきます。そのため、「学習力を育てる授業づくり」を目指して研修を積み、これからも日々の授業改善に努めてまいります。

地域に出て・・・

<千曲川駅伝大会>



仲間とたすきをつないで力走

10月10日に、千曲橋緑地グラウンドを中心として行われた「おぼすてマラソン大会」に3年の河原さんが、「千曲川駅伝競走大会」に野球部、サッカー部、男子バスケ部が参加をしました。河原さんは入賞に一步及ばず惜しくも9位でしたが、野球部、バスケ部のチームが2位、3位となりました。おぼすてマラソンは44回、駅伝は15回を数える地元をコースとする大会です。西中生が参加をして大会を盛り上げました。



ゲストランナーの原裕美子さんから表彰を受ける

<地域学習 ～2学年～>

10月20日には、総合的な学習の時間に2学年の各学級が校外に出て「地域学習」を行いました。1組は武水別神社の学習と茶道体験、2・3組は開眼寺での座禅体験、4組は重要伝統的建造物群保存地区である稲荷山の探索を行いました。

この学習に当たっては、八幡にお住いの浦

澤さん、本校の学校評議員でもある開眼寺の柴田住職、稲荷山蔵の会の泉さんにボランティア講師となっていただきました。「近い将来地域を支えていくことになる中学生に地域のことを積極的に学んでほしい。」という声も学校に寄せられています。このような機会を大切に、地域を誇り、愛する心を育てていきたいと願っています。



熱心に歴史を学ぶ



心静かに

お知らせ

4月より勤務いただいていた井出綾子講師が、ご家庭の事情により10月31日をもってご退職されました。後任として、11月1日より大碓梨央講師おおぼに保健体育担当、2学年所属としてお勤めいただいています。すでに、教科担任の変更等、該当学級には通知させていただいておりますが、改めてご承知ください。

(文責：教頭 畑)